



AJRL NETWORK

Association of Japanese Residents in LAO P.D.R.

巻頭言

日本人会名誉会長 引原 毅（駐ラオス日本国大使）

ラオス国日本人会の皆様、こんにちは。駐ラオス日本国大使の引原です。2016年度最初の会報誌発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

日本とラオスの関係は、近年大きく深化しています。昨年は日本とラオスの外交関係樹立 60 周年という歴史的な年で、両国の関係が「戦略的パートナーシップ」へと格上げされ、様々な交流事業等が展開されました。本 2016 年もラオスが ASEAN 経済共同体成立後初の ASEAN 議長国を務めるという、重要な節目の年となります。ASEAN 首脳会議や関連大臣会合のために各国から多くの要人の来訪が見込まれ、ラオスに世界中の注目が集まることとなります。日本としても、ラオスが議長国としてのリーダーシップを発揮できるよう全力でサポートし、この重要な機会を通じて日本とラオスの関係がより一層深まるよう、協力を進めていきたいと思っております。

私はラオスに着任して約半年となりますが、常に自らに言い聞かせ、大使館内でも繰り返して伝えていることが2つあります。その一つは、大使館における最優先事項は邦人関係業務である、ということです。領事関係やビジネスで用件のある方を始めとして、多くの邦人の皆様が大使館に来訪されます。常日頃ラオスで活躍されている、あるいは縁あってラオスを訪問される邦人の皆様への支援をいつも第一に考え、業務にあたるよう心がけています。

もう一つは、オール・ジャパンで業務に取り組む、ということです。ラオスには、日本人会を始めとして、日本人商工会議所、JICA、JETRO、国際交流基金、数多くの邦人企業やNPOなど、様々な邦人関係の組織が活動を展開しておられます。これらの邦人関係組織が、それぞれの目的を追求しつつお互いに緊密に連携・協力することで、より大きな成果を上げ、あわせて日本のプレゼンスを高めることができます。当大使館はラオスで活躍する様々な邦人の皆様、邦人関係組織の間の橋渡し役となり、一層のネットワーク強化に取り組んでいきます。その

ために常に開かれ、皆様の関心に出来る限り応える、そういう大使館でありたいと思っております。当大使館に対するご要望、ご相談やご意見がありましたら、いつでもご連絡を頂ければ幸いです。

雨期に入って大分過ごしやすくなりました。メコン川の流れも豊かになり、恵みの雨という言葉を実感する日々です。当地で活躍される邦人の皆様のますますのご健康とご多幸、そしてラオス国日本人会のさらなるご発展をお祈りして、私からのご挨拶といたします。本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。



本号内容

- (1) 巻頭言(名誉会長挨拶)
- (2) 2016 年度新理事挨拶
- (3) 会則の変更について
- (4) 活動報告(運動会)
- (5) NGO/国際機関紹介
- (6) 大使館便り

2016 年度新理事からのご挨拶

会長、イベント・渉外担当：小泉 充

2016 年度のラオス日本人会会長を務めさせて頂く小泉充でございます。ラオス日本人会との関わりは、第一回 Japan-Festival の開催が東日本大震災の際に多大なご支援を戴いたラオス国民に対して感謝の意を表すという気持ちを込めて開催されました際に、支援ボランティアとして3か月間没頭したことから始まりました。ラオス日本人会に入会して間がなく右も左も判らない中、当時の会長に激励され徹夜までして準備したものでした。

それ以降ずっとラオス日本人会に関わってきましたが、近年は会員の皆さまはもちろん入会されていない方も含め、日本人会という団体に対する興味や考え方が少し変わってきたのかなと最近感じています。今年度は新理事を探すのも非常に困難でした。ラオスに限らず日本人会とは互助会のようなもので、同じ環境に暮らす日本人がお互いに力や知識を出し合い、少しでも楽しく安全に暮らせるようにするのが理念ではないかと思ってきました。

しかし、近年はそのような会に頼らずともインターネットの普及でいくらでも情報が取れますし、そのほかのソーシャルネットワークの活用で遠く離れた日本から検索でき情報が得られるようになりました。従って、ラオス在住の皆様のラオス日本人会への関心もだんだん薄れてきている気がします。

ここでもっと関心を高めてもらおうとする活動を活発にするのが良いのか、ひとまずラオス日本人会を解散するのが良いのか、十分検討する価値が出てきたのかなとも思います。運営に参加する担い手がいなければ自然消滅するしか道はありませんし、今年は皆様のご意見を頂戴したいなと思っています。より一層魅力ある会にするためには、日常の業務をする傍らに理事活動をして効果を出すには限界を感じています。

昨年も会長を務めさせて頂き、多くのイベントを計画し活動を盛り上げようとしてみましたが、その効果は思いのほか上がらなかった気がしています。今年もう一年頑張ってみようと思っています。皆様のご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

副会長、イベント、賛助会員担当：佐藤 豊

昨年度に引き続き副会長を務めさせていただきます、ラオス日本センター(LJI)の佐藤と申します。イベント係

をメインに今年度もお世話になりますが、多くの会員の皆様にご参加いただけるイベントほど楽しいものはありません。可能な限り皆さまの声に耳を傾けて実施していきたいと思っておりますので、是非ご要望等ありましたらお気軽にお声かけください。今年度もよろしくお願いいたします。

副会長、個人グループ担当：原田

初めまして、原田と申します。ラオスに来て2年半が経ち、昨年より日本人会のイベントに参加させて頂くようになり、縁あって今年度は理事をさせて頂くことになりました。初めてで緊張しておりますが、副会長、個人グループ担当もさせて頂くことになり、日本人会及びラオス在留日本人の皆様にご貢献できるよう頑張ります。

また医療関係者でもありまして、ラオスの医療にも微力ながらも貢献できる機会があればと思っております。どうぞ宜しく御願い致します。

ピエンチャン日本語補授業校(補習校)担当：倉田

当校並びに日本人会への、ご理解、ご支援にお礼を申し上げます。私は、学校側とその支援母体のラオス国日本人会の調整役をさせて頂いております。補習校運営は委員8名+校長で行っています。今年1学期の小中学就学生徒数約38名に対し、教師6名+ボランティア4名で日本の教科書を使い国語、算数を週6時間授業行っています。多くのご子息が就学をされており、私自身もしっかりと皆様のご意見を伺いながら、運営と結果が出来ますよう努めてまいります。補習校の中から将来ラオス国または他国と日本国のために活躍する人材が出てくと確信しています。

さて、理事職は今年が3年目となりましたので、2昨年度の経験や皆様のご意見をしっかりと聞き反映し、活動に活かし益々会員皆様の満足度を上げたいと思っております。引き続きご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

メーリングリスト、会計補助、法人担当：黒崎 将仁

昨年度に引き続き理事を務めさせていただき、マルハンジャパン銀行ラオスの黒崎と申します。日本人会ではメーリングリスト管理、会計補助、法人グループを担当させていただきます。

昨年度は新参者ながら理事を経験させて頂き、そのなかで理事メンバーをはじめ各行事に参加して下さる皆様との出会いや繋がりといった、非常にシンプルではありますが日本人会の存在意義、活動意義を感じたことから本年度の続投を決意致しました。若輩者で至らぬ点もあるかと存じますが、何卒宜しくお願い申し上げます。

会報誌、HP 担当：林田 陽介

在ラオス日本大使館経済協力班の林田と申します。主に保健、教育分野を担当しています。初めての海外勤務からはや1年が経過し、ラオス生活にも随分なじんできました。今年はラオス国内いろんなところに行ってみるのが目標です。会報誌を通じ、日本人会の活動をお伝えしていきたいと思っております。会員の皆様からの投稿も大歓迎ですので、投稿希望等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

準会員、イベント担当：パンニャーシット・パリカ

日本人会の皆様サバイター！昨年度に引き続き、理事を務めさせていただきパスコラオのパリカと申します。

昨年は日ラオス外交関係樹立60周年に当たる年であり、日本とラオスの友好関係と相互理解を一層促進するという事で、ラオス人でも準会員として日本人会に入会できることになりました。それで準会員とイベントを担当させていただきます。自分自身のラオス人として日本人会会員の皆様がラオスで働いて、間接的、直接的にラオス経済や社会に貢献していただいていることに感謝しています。皆様がラオスでのお仕事・生活を楽しめることを願っております。

今年度は2年目になりましたが分からないことがまだいっぱいだと思います。本年も会員の皆様の御協力をお願いいたします。

法人グループ担当：松本 竜生

2016年度日本人会におきまして理事に選任され、法人グループを担当することになりました(株)安藤・間の松本竜生と申します。

ラオスには昨年の10月から赴任しておりますが、まだまだわからない事ばかりで、日本人会の運営についても他の理事の方々から助言を頂きながらなんとか取り組んでおります。今後は日本人会会員の皆様のご協力を頂きながら、日本人会の活動を盛り上げ、日本人会が益々、発展していくよう微力ながらがんばっていく所存です。何卒、日本人会会員の皆様、ご協力の程、よろしくお願い致します。

会計、NGO 担当：持田 寿光

会員の皆様、こんにちは。持田寿光と申します。3年目になりますが、引き続き理事を務めさせて頂くことになりました。今年度も会計を担当させていただきます。日頃はNPOに所属し、ラオスの歯科医療の向上に務めておりますが、日本の方にお会いできる機会を作るため、そして、少しでも日本人社会になにか貢献出来たらと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

書記、JICA 担当：森田

日本人会の皆様、初めまして JICA の森田と申します。JICA 事務所からは代々若手が理事に立候補させて頂いており、この度は前任の大木さんから引継ぎました。ラオス事務所に赴任してちょうど一年になりますが、まだまだわからないことも多く、ラオス語も挨拶以上には上達しませんが、皆様のご知見をお借りして頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。今年は ASEAN サミットでラオスにスポットライトが当たりますが、日本人会も負けじと光っていきますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

会則の変更について

2016年4月の総会において、出席者の賛成多数により、第9条「名誉会長」の一部改訂が決定されました。改訂後の条項は以下のとおりです。

第9条

「名誉会長」

本会に運営上、有益な助言を得るために名誉会長を置くことができる。名誉会長を置く場合は、原則として駐ラオス日本国大使に委嘱する。

活動報告

運動会(6月12日)

曇天に覆われていたビエンチャンに、久しぶりに太陽の光が戻ってきた日曜日、武道センターにおいて日本人会主催の運動会が開催されました。当日は日本人約40名、ラオス人約50名の合計約90名が参加し、赤、白、青、緑の4団に分かれて競い合い、優勝を目指しました。今年もてっちゃんねっとのご協力の下、ラオスの学生たちが大勢参加してくれました。



運動会の種目は玉入れ、風船運び、台風の目、障害物競争、そして綱引き。日本人にとってはなじみ深い競技ばかりですが、ラオス人にとっては必ずしもそうではありません。各競技前に司会から競技の説明を行い、デモンストレーションも行います。日本語を勉強している学生たちもいますので、ルールの説明もスムーズ。昨年から参加している学生も多くいて、ルールを教え合う姿も見られました。

開会式まではみなさん少しおとなしめでしたが、いざ競技が始まると、会場のテンションが一気に上がります。年齢、性別、国籍問わず、全力で競技に取り組み、仲間を一生懸命応援する姿が印象的でした。一番盛り上がったのは、最終種目の綱引き！大どんでん返しもあり得る戦いです。参加者の人数、立ち位置等、綿密な作戦を立てる団もあり、勝利への執念がうかがわれます。闘志むき出し、ギラギラの戦いとなりました。

全ての種目を終え、いざ結果発表！なんと史上初(?)で赤団、緑団が同点首位に。代表者3名によるじゃんけん対決の結果、今年の優勝は緑団！最後まで盛り上がりを見せてくれました。みなさん、本当にお疲れさまでした。

NGO/国際機関紹介

特定非営利活動法人 IV-JAPAN

IV-JAPAN では、ラオスで十分な教育機会に恵まれなかった若者の自立支援を目的に、調理・美容・縫製・木工の分野で職業訓練を行っています。1学期(3ヶ月)、2学期(3ヶ月)は校内訓練を通して職業技術を身につけます。校内訓練を終了した生徒たちは、3学期(6ヶ月)からは、OJT ショップ(実地訓練用店舗)にて、実際に一般のお客様を相手にサービスを提供する実地訓練を受けます。生徒達は材料の調達から加工、衛生管理、サービスの提供、収支管理、接客応対まですべてを自分たちで行い、経営手法を身につけていきます。IV-JAPAN の職業訓練は将来のラオス経済の発展を担う若手起業家の輩出を目的としており、単に被雇用者として働くのではなく、自立して働ける人材の育成を目指しています。また、失敗から学ぶ経験を多く積んでもらうために、様々なことにチャレンジできる機会を提供しています。

2004年からJICAと連携し職業訓練校の人材育成や運営体制の構築に取り組んできましたが、当会の支援は2016年11月で終了し、それからはラオス人だけで職業訓練校を運営していくこととなります。12年間かけて皆でゼロから創りあげた職業訓練校はラオス人職員にとっても思い入れのある学校であり、よりよい学校へと改善していつくれることを願っています。彼らが職業訓練校を発展させる最大のヒントとなるのがお客様の生の声です。日本人会の皆様には、彼らのお弁当のケータリングサービスや美容、仕立て、家具の注文など、今後ご愛顧いただけましたら幸いです。



大使館便り

今後当地ではASEAN外相会合(7月), ASEAN首脳会議(9月)が開催されるに伴い, 警察当局による警備及び取り締まりが厳しくなります。特にASEAN首脳会議直前は厳戒態勢になります。時間帯(特に夜間)によっては当局から職務質問を受けたり, 当局により不審と疑われた場合には, 身柄を拘束される可能性もあります。

留意事項は以下のとおりです。

- (1) 常時旅券等身分証明書を携帯しておく(旅券不携帯の場合には身柄を拘束される可能性があります)。
- (2) 夜間の不要不急な外出は避ける。
- (3) 当局により職務質問を受けた場合でも正当な理由で外出(その場を通行)している旨証明できるような証明書(文書)を携帯する。例えば仕事柄帰宅する時間が遅くなることが想定される場合には, 職場からラオス語の文書で発行してもらうのも一案。
- (4) 検問或いは取り締まりに遭遇した場合には, 同検問等の直前で回避行動する等不審者と思われるような行動は避ける。

編集部より

ラオス国日本人会会報誌「アジャレラネットワーク」では、皆様からの投稿をお待ちしております。会員の皆様に知っていただきたいこと等ございましたら、是非ご一報ください！

会報誌担当 林田 陽介

法人会員

法人会員は日本人会の趣旨に賛同し運営にご協力いただいている企業です。
ここでは、今回掲載を希望された法人会員のロゴをご紹介します。(50音順)



イッサラポン幼稚園



日本国大使館近くに2016年
7月オープン！！
FB:/Qoo Japanese Restaurant



清水建設 ビエンチャン事務所

ITALIAN TOMATO

ITALIAN TOMATO ASEAN

KOMATSU

コマツ ビエンチャン事務所



TOYOTA TSUSHO

豊田通商株式会社



MARUHAN JAPAN BANK LAO

マルハンジャパン銀行ラオス